

令和6(2024)年度 山形県依存症の理解を深めるための普及啓発事業

『依存症からの回復を支援するきめこまやかな ネットワーク作りを目指して』



11月17日 (日) 13:00(12:30開場)から16:30まで

場所 : 〒990-0076 山形市平久保100

山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング 4F 401会議室

入場無料、定員40名、原則先着順

プログラム

第一部 講演(動画上映型)

『SOSにえていますか？

～地域のアルコール患者さん&ご家族を支援するときの眼と構え～』

小松知己氏 (沖繩協同病院 医師、厚労省アルコール健康障害対策関係者会議審議委員)

(プロフィール)

年間4千台超の救急搬送を受け入れる基幹型臨床研修病院(精神科ベッドなし)でリエゾン業務の一環として、アルコール患者の早期介入と外来治療を中心に医療活動を行う。

東京で生まれ、鹿児島で育ち、1984年春に北大医学部を卒業してから2010年秋までほぼ札幌で過ごす。

移住した那覇をこよなく愛するヤマトンチュ〜のひとり。

アルコール臨床歴は約37年、札幌時代はARP(アルコール依存症リハビリテーションプログラム)を運営する病院および精神科クリニックに勤務し、現在は、身体疾患・外傷で入院してきたアルコール依存症の患者さんが当科を紹介受診して「心療科かかりつけ医がない+本人と外来治療(断酒/減酒)の合意ができた場合」に退院後のフォロー外来を多機関・自助グループと連携して実施している。

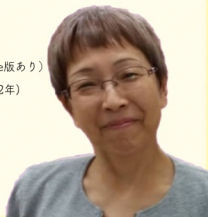
(主な著作)

『本とうつ病と私』(泉崎真実 名義 幻冬舎メディアコンサルティング2011年Kindle版あり)

『「ガマンしない断酒」のヒント集』(ブックレット 小松知己事務所 2022年)

『ぼくらのアルコール診療』(共編著 南山堂 2015年)

日本総合病院精神医学会アルコール・アディクション対策委員長&評議員
日本臨床医学学会 評議員
沖縄ANDOGネットワーク世話人



第二部 ワークショップ

ネットワークづくりのための体験型講座

アルコール依存症は、罹患した個人の問題だけにとどまりません。生きづらさを伴う問題解決のパターンは家族の暮らしを覆い尽くし、さらに次世代に伝播することが明らかになっています。

もし今、生きづらさの悪循環を抱える人が目の前に立ったとしたら・・・あなたならどう受け止めますか？

どんな姿勢で話に耳を傾けますか？

どんな言葉をかけてあげますか？

ワークショップに参加することで、正しく理解することの知識や回復の希望やかかわり続けることのヒントが見つかるかもしれません・・・

お申込み方法

右のQRコードで読み込んだ専用の申し込みフォームからお申し込みください

申し込み期限 : 令和6年10月31日(木)



【お問い合わせ】

山形県依存症関連問題研究会 事務局

✉ yimoken@gmail.com